

# 東海大学医学部東洋医学講座活動報告

責任者	猪子英俊	Hidetoshi Inoko
准教授	新井 信	Makoto Arai
講師	荒井勝彦	Katsuhiko Arai
講師	日置智津子	Chizuko Hioki
非常勤講師	田代眞一	Shin-ichi Tashiro
非常勤講師	張 民浩	Tamihiro Cho
非常勤講師	高野昭人	Akihito Takano
兼任	泉 義雄	Yoshio Izumi
兼任	高士将典	Masanori Takashi

## 沿革

東海大学医学部東洋医学講座はツムラ寄付講座として平成 14 年 10 月に東海大学医学部に設置された。平成 17 年 4 月に新井信助教授(現在は准教授)が常勤医師として赴任してから、いわゆる講座としての活動を本格的に開始した。翌 18 年 1 月には荒井勝彦講師、同年 7 月には日置智津子講師が赴任し、診療、教育、研究体制が充実し、現在に至っている。

## 教育概要

東海大学では平成 15 年度から東洋医学講座が主講する東洋医学の学生講義が始まった。講義コマ数は当初は選択科目 9 時間、前後期 2 回だったが、平成 19 年度から一部が必修となり、平成 20 年度の東洋医学授業時間数は多くの選択科目を含めて合計 48 時間となった。以下に講義概要を示す。

1 年生では「医学入門」という必修講義の中で 1 時間の東洋医学の講義があり、それに関連した課題を自分たちで調べて 5 時間の発表会を行う。3 年生は薬用植物と生薬に親しむことをテーマに薬用植物園見学などを行う計 9 時間の選択講義がある。4 年生になると必修科目として全員が鍼灸も含めた東洋医学概論を 6 時間学び、その後に筆記試験、さらに続いて少人数グループによる体験型実習を履修する。実習は 4 年生を 3 グループに分け、毎週 1 グループ(38~39 名)をさらに 3 つの小グループ(12~14 名)に分け、漢方理論・鍼灸・生薬の 3 種類の実習を各 1 時間ずつ、計 3 時間でローテートする。興味のある 4 年生には、さらに選択科目として 9 時間の東洋医学各論、9 時間の PBL 形式の演習授業も用意している。6 年生のクリニカルクラークシップでも 12 名の学生が 1 週間の外来見学を主体とした臨床実習を受けることができる。

東海大学医学部における漢方卒前教育のスタイルはこれでほぼ完成したと考えていて、今後はそ

の内容の評価と再検討を行うとともに、卒後教育の導入を検討する必要がある。

## 診療概要

東海大学医学部付属病院では東洋医学科という独立した診療科として、漢方外来と鍼灸外来のいずれかを毎日午前午後 1 ブースで行っている。患者数は月間 500~550 名、鍼灸外来は 60~70 名で推移している。診療ブースは他科と並列に大学病院内にあるため、他科からの紹介も多く、難治性疾患患者が比較的多いことなどが特徴であろう。

受診動機は、最も多かったものは大学病院の他科からの紹介で全体の 23%、次いで漢方外来チラシを見て受診した人が 21%、その他、家族方の紹介が 16%、知人や友人からの紹介が 13%、東洋医学講座ホームページを見て受診した人は 9%、他院からの紹介は 9%、漢方教室や東洋医学セミナーなどの患者向け普及啓蒙活動がきっかけとなって受診した人は 5%であった。

## 研究概要

日置講師は臨床に密着したテーマを主軸として漢方研究を展開しており、現在までに、生活習慣病を惹起する要因の東洋医学的探索を発端にして、予防策、治療法について検討している。方剤としては防風通聖散の抗肥満効果、特に内蔵脂肪減量効果やインスリン抵抗性改善効果につき着目し、主たる作用機序と臨床研究データは既に報告しているが、肥満症に関わる遺伝子と効果については中間点にある。今までの研究データをもとに、他の方剤の脂質および糖代謝改善効果のつき予測実験の企画などを計画している。

学内共同研究として、分子生命科学教室と共同で線虫の寿命延長測定システムを用いて生薬や漢方薬の寿命延長効果に関する研究を行っている。本学には抗加齢医学研究を目的としたライフケアセンターがあり、今後は遺伝子解析も含めた研究を進める予定である。

## FD 活動、研究会活動の概要

### 臨床漢方薬理研究会

臨床漢方薬理研究会は日置講師が代表を務め、東海大学医学部東洋医学講座に事務局を置く。1993 年に設立され、会員数は現在 70 余名、機関誌として『臨床漢方薬理研究会誌』を年 1 回発行し、UMIN にも登録された公的研究会である。平成 20 年度には 103 回例会を京都で開催した。

## 神奈川県 4 大学医学部 FD フォーラム・漢方医学ユニット

神奈川県 4 大学医学部（北里大学、聖マリアンナ医科大学、横浜市立大学、東海大学）が医学部漢方教育のための人材発掘およびカリキュラム標準化を目標に、本年度、4 医学部長を中心に漢方医学 FD フォーラムを立ち上げた。その後、医学部教育全体の問題に広く捉えて「神奈川県 4 大学医学部 FD フォーラム・漢方医学ユニット」と改称した。平成 20 年 12 月に第 1 回合同研修会を横浜で開催した。

### 普及啓蒙活動

患者向けの漢方勉強会である「漢方教室」を 3 ヶ月に 1 回、第 3 土曜日の午後で開催している。内容はテーマ別に疾患症状を漢方と鍼灸で解説し、質疑応答を受けるもので、本年度は 3 月、6 月、9 月、12 月の 4 回開催して毎回 80～130 名程度の聴講者が来場した。

市民公開講座である「東洋医学セミナー」を年 1 回開催している。本年度は東洋医学講座の責任者でもある東海大学医学部長の猪子英俊先生とあきば伝統医学クリニックの秋葉哲生先生に講師としてお話ししていただいた。

その他、ホームページ、院内チラシ等で普及啓蒙活動を行っている。

### 著書・分担執筆

- 1) Hioki C.: HERBAL MEDICINE CURRENT RESEARCH: Bofutsushousan “Kampo Medicine” Use in metabolic syndrome: Research the scientific basis and clinical trial in Japanese Obesity. Nova Science Publishers, New York, USA, 99-122, 2008
- 2) 新井信: 東洋医学における健康の概念, ヒューマンサイエンスシリーズ 現代に生きる養生学 - その歴史・方法・実践の手引き -. 早稲田大学人間総合研究センター (監修: 石井康智), 81-99, コロナ社, 東京, 2008
- 3) 新井信: 第 20 章 漢方の薬理, シンプル薬理学. 311-312, 南江堂, 東京, 2008
- 4) 荒井勝彦, 新井信: 潰瘍性大腸炎 患者が本当にききたいこと - 129 の Q&A. 30-32, 弘文堂, 2008
- 5) 荒井勝彦, 新井信: クロウン病 患者が本当にききたいこと - 140 の Q&A. 39-41, 弘文堂, 2008

### 原著

- 1) Hioki C., Yoshimoto K., Yoshida T.:

Traditional medicine, Bofutsushosan, improves hyperinsulinemia in obese subjects. J. Chin. Clin. Med., 3(6): 312-316, 2008

- 2) Hioki C, Arai K., Takashi M., Arai M.: Evidence-based reevaluation of Bofutsushosan (Kampo Medicine) to maximize effectiveness when used for management of metabolic syndrome in obesity. Jpn. J. Pharm. Health Care Sci., 34: 513-521, 2008
- 3) Yamaguchi T., Onodera A., Yasuda K., Nishio Y., Arai M., Tsuda M., Miyazawa M., Hartman P. S., Ishii N.: A low cost and quick assay system using the free-living nematode *Caenorhabditis elegans* to determine the effects of Kampo Medicines on life span. AATEX, 13(1): 1-10, 2008
- 4) Yasui T., Uemura H., Irahara M., Arai M., Kojimahara N., Okabe R., Ishii Y., Tashiro S., Sato H.: Associations of endogenous sex hormones and sex hormone-binding globulin with lipid profiles in aged Japanese men and women. Clin. Chim. Acta., 398(1-2): 43-47, 2008
- 5) Kajiwara K.: Peony root extract upregulates transthyretin and phosphoglycerate mutase in mouse cobalt focus seizure. Biochem. Biophysic. Res. Commun., 371(3): 375-379, 2008
- 6) 日置智津子, 荒井勝彦, 高士将典, 新井信: 漢方医学基礎教育における医療薬学体験チーム型実習の導入と評価. YAKUGAKU ZASSHI, 128(10): 1467-1473, 2008
- 7) 日置智津子, 新井信, 荒井勝彦, 高士将典: エビデンスによる漢方の再構築 メタボリックリンドロームに対する防風通聖散の有効性の検討. 医療薬学, 34(6): 513-521, 2008

### 総説

- 1) 日置智津子, 吉田俊秀: 肥満症の漢方治療 漢方を現代医療で活用するために必要な東洋医学的健康感と EBM 構築. 漢方と最新治療, 17(3): 193-201, 2008
- 2) 荒井勝彦, 新井信: 特集 痛みと漢方, 腹痛と漢方. 漢方と最新治療, 17(4): 265-271, 2008
- 3) 日置智津子, 吉田俊秀: メタボリックシンドロームの漢方治療. Current Therapy, 26: 55-59, 2008

### 症例報告

- 1) Arai M.: Three case reports of obesity. J.

Kampo Med. 1: 16-19, 2008

- 2) 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子: 続・女子医大雑話 27(164), 気候が涼しくなり増悪した3症例. 漢方の臨床, 55(1): 127-133, 2008
- 3) 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾: 続・女子医大雑話 28(165), 頑固な便秘に人參湯合麻子仁丸ほか. 55(2): 281-284, 2008
- 4) 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅: 続・女子医大雑話 29(166), 胃腸症状を訴える4症例. 漢方の臨床, 55(3): 396-405, 2008
- 5) 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信: 続・女子医大雑話 30(167), 不眠症の症例. 漢方の臨床, 55(4): 586-591, 2008
- 6) 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美: 続・女子医大雑話 31(168), 虚症の3症例. 漢方の臨床 55(5): 750-755, 2008
- 7) 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子: 続・女子医大雑話 32(169), 真武湯で治療した3症例. 55(6): 881-886, 2008
- 8) 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾: 続・女子医大雑話 33(170), 脊柱管狭窄症に当帰四逆加呉茱萸生姜湯ほか. 55(7): 1042-1046, 2008
- 9) 久米由美, 新井信, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅: 続・女子医大雑話 34(171), 小建中湯, 黄耆建中湯の症例. 漢方の臨床, 55(8): 1197-1203, 2008
- 10) 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅: 続・女子医大雑話 35(172), 気道症状を訴える3症例. 漢方の臨床, 55(9): 1336-1342, 2008
- 11) 盛岡頼子, 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美: 続・女子医大雑話 36(173), 桂姜棗草黄辛附湯, 参蘇飲, 八味丸の症例. 漢方の臨床 55(10): 1488-1493, 2008
- 12) 岡部竜吾, 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子: 続・女子医大雑話 37(174), 抑肝散で治療した3症例. 漢方の臨床 55(11): 1705-1711, 2008
- 13) 溝部宏毅, 新井信, 久米由美, 盛岡頼子, 岡部竜吾: 続・女子医大雑話 38(175), 漢方を信じ切ることができなかった2例. 漢方の臨床 55(12): 1861-1864, 2008
- 14) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(1), 腰下肢の痛みとしびれ. 漢方の臨床, 55(7): 1028-1032, 2008
- 15) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(2), 頸部痛. 漢方の臨床, 55(8): 1204-1208, 2008
- 16) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(3), 肩凝り症. 漢方の臨床, 55(10): 1515-1518, 2008
- 17) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(4), ぎっくり腰. 漢方の臨床, 55(11): 1727-1730, 2008
- 18) 高士将典, 荒井勝彦: 東海鍼灸医案(5), 便秘症. 漢方の臨床, 55(12): 1885-1888, 2008
- 19) 新井信: 移精变気の経験. 漢方の臨床, 55(11): 1666-1669, 2008
- 20) 荒井勝彦: 四逆散にて著効したFDの1例. 中医臨床, 29(4): 534-537, 2008
- 21) 高士将典: 雞林医案, 弁証論治による鍼灸治療際 64, 弟子たちの「方法論」. 医道の日本, 67(10): 91-93, 2008

#### その他の執筆

- 1) 新井信: 質疑応答, 高齢者の長期大量の寝汗. 日本医事新報, 4412: 98-99, 2008

#### 特別講演・教育講演・シンポジウム・招待講演・学術講演

- 1) Hioki C.: The Management of metabolic Syndrome in Obesity with Kampo Medicine. The 7<sup>th</sup> International Symposium on National Medicine and Microflora, 2008.8, Toyama
- 2) Hioki C.: Traditional medicine, Bofutsushosan, improves hyperinsulinemia in obese subjects. 長春中医薬学院 50 周年記念フォーラム, 2008.9, Changchun, China
- 3) 新井信: 高齢化社会と漢方. 熊谷市医師会学術講演, 2008.5, 埼玉
- 4) 新井信: 東洋医学とリハビリテーション. 第45回日本リハビリテーション医学会学術集会, 教育講演, 2008.6, 横浜
- 5) 新井信: 急性ウイルス性胃腸炎への漢方治療. 第59回日本東洋医学会学術総会, シンポジウム, 2008.6, 仙台
- 6) 新井信: 甘草配合の漢方薬の臨床. 第4回甘草に関するシンポジウム, 2008.6, 大阪
- 7) 新井信: 高齢化社会における漢方の役割. 第29回茨城県東洋医学研究会学術講演会, 2008.7, つくば
- 8) 新井信: 高齢化社会における漢方治療の役割. 日本東洋医学学会長野県部会, 特別講演, 2008.7, 長野
- 9) 新井信: 高齢化社会に活かす漢方～現代医療における漢方の位置づけと今後の展望も含めて～. 秩父都市医師会学術講演会, 2008.7,

埼玉

- 10) 新井信: 東海大学医学部における体験型実習を取り入れた東洋医学教育の成果. 第25回和漢医薬学会学術大会, シンポジウム, 2008.8, 大阪
- 11) 新井信: 東海大学医学部東洋医学科の歩みと展望. 第5回久留米大学東洋医学研究会, 特別講演, 2008.10, 福岡
- 12) 荒井勝彦: 更年期障害と不定愁訴. 第23回日本更年期学会学術集会, 教育講演, 2008.11, 横浜

#### 研究会・学会発表

- 1) Kogure A., Takakura Y., Umekawa T., Hikoki C., Yoshioka K., Yoshida T., Yoshikawa T.: Caffeine up-regulates mRNA expression of white adipose tissue in obese diabetic mice. The Endocrine Society/90th Annual Meeting, San Francisco, USA, 2008
- 2) 日置智津子, 荒井勝彦, 高士将典, 新井信: 6年制薬剤師教育への提言 - 薬学体験型チーム実習講義にみる医学生の学習意欲向上 -. 第128回日本薬学会, 2008.3, 横浜
- 3) 日置智津子: カフェイン投与は肥満・糖尿病マウス脂肪組織のレジスチン mRNA 発見を増加させる. 第81回日本内分泌学会学術総会, 2008.5, 秋田
- 4) 荒井勝彦: 肝気鬱結証の臨床的考察について. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008.6, 仙台
- 5) 新井信: 体験型実習を取り入れた東洋医学教育の成果(第1報) - 東洋医学教育に有用な授業形態の導入 -. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008.6, 仙台
- 6) 日置智津子: 体験型を取り入れた東洋医学教育の成果(第2報) - 漢方生薬実習講義の導入は東洋医学教育に有用である -. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008.6, 仙台
- 7) 高士将典: 体験型を取り入れた東洋医学教育の成果(第3報) - 鍼灸実習の成果 -. 第59回日本東洋医学会学術総会, 2008.6, 仙台
- 8) 新井信: 東洋医学教育における少人数グループによる体験型実習の成果. 第40回日本医学教育学会総会, 2008.7, 東京
- 9) 日置智津子: 漢方医学基礎教育における東海大学における医療薬学体験チーム型実習の導入と評価. 第18回日本医療薬学会, 2008.9, 札幌
- 10) 荒井勝彦: 潰瘍性大腸炎に対する黄土湯の使用経験. 日本東洋医学会第65回関東甲信越支

部学術総会, 2008.10, 山梨

- 11) 高士将典: 前立腺術後に出現した陰茎冷痛に鍼灸を併用し有効であった1症例. 日本東洋医学会第65回関東甲信越学術総会, 2008.10, 山梨
- 12) 新井信: 結膜浮腫に越婢加朮湯が奏功した1例. 日本東洋医学会第65回関東甲信越支部総会, 2008.10, 山梨

#### 学生講義

東海大学

- 1) 1年生必修(6コマ): 医学入門・未来の医学. 新井信
- 2) 3年生選択(9コマ): 東洋医学. 荒井勝彦, 日置智津子, 高野昭人, 田代眞一
- 3) 4年生必修(6コマ): 臨床医学B・東洋医学. 新井信
- 4) 4年生必修(9コマ): 東洋医学実習. 新井信, 荒井勝彦, 日置智津子, 高士将典
- 5) 4年生選択(9コマ): 東洋医学. 日置智津子, 張民浩, 荒井勝彦
- 6) 4年生選択(9コマ): 東洋医学. 新井信, 荒井勝彦
- 7) 6年生選択(1週間): クリニカルクラークシップ・東洋医学. 新井信, 荒井勝彦

#### その他の大学

- 1) 日本薬科大学薬学部4年生. 新井信
- 2) 藤田保健衛生大学医学部3年生. 新井信
- 3) 藤田保健衛生大学医学部4年生. 新井信
- 4) 新潟大学医学部6年生. 新井信
- 5) 早稲田大学人間科学部4年生. 新井信
- 6) 名城大学薬学部4年生. 日置智津子

#### 学会・研究会開催

- 1) 臨床漢方薬理研究会第103回例会. 4月19日(土)~4月20日(日), 京都
- 2) 神奈川県4大学医学部FDフォーラム漢方医学ユニット・第1回合同研修会. 12月7日(日), 横浜

#### 普及・啓蒙活動

- 1) 第12回漢方教室, ガンなどの難病を癒す - 自然治癒力を最大限に引き出す -. 3月15日(土), 東海大学医学部講堂
- 2) 第13回漢方教室, 頭痛やめまいもスッキリ - 持病だと諦めていませんか? -. 6月21日(土), 東海大学医学部講堂
- 3) 第14回漢方教室, 漢方で便秘や下痢を治す - スッキリ快便で元気いっぱい -. 9月20日

(土)，東海大学医学部講堂

- 4) 第15回漢方教室，更年期を快適に過ごす - 女性ホルモンに頼らない治療法 - . 12月20日  
(土)，東海大学医学部講堂

- 5) 東洋医学セミナー2008，講演 1; 医療の中で活用される遺伝子解析，講演 2; 21世紀に生かしたい医療・これが日本の漢方だ!. 11月29日(土)，相模原

インターネット配信

- 1) 新井信：ラジオ NIKKEI, TUMURA Medical Today, 消化器領域と漢方医学(全9回). 2008.6-7.